



情報科学部から巣立つ

情報科学部長 石光俊介

AIを使いこなし、未来を定義する知性となれ



情報科学部長
情報科学研究科長
いしみつ しゅんすけ
石光 俊介

広島市立大学情報科学部は、AIが社会を席巻するはるか30年前、平和を希求し未来を照らす存在として産声を上げました。現在、生成AIは単なる「道具」を超え、私たちの思考や創造性すら代替し始めています。変化の荒波が激しさを増す今、灯台が嵐の中でこそ真価を発揮するように、本学部が30年かけて築き上げた「情報科学の真髄」という光が、かつてないほど重要になっています。AIに正解を委ねるのではなく、AIを使いこなし、問いを立てる「知性の主体」として、あなたは何を成すのか。世界が加速し、自分を見失いそうな時代だからこそ、本学で揺るぎない基礎を打ち立ててください。その基礎こそが、不確実な未来を切り開く最強の武器となります。共に未来を建設しましょう。大いに期待しています。

学情報科学部長
(科学研究科長)
石光 俊介

こにあります。恒久の平和を見つめるように未来を照らすようにして立ち上げら
寺間をかけて皆さんに情報科学を教育する基礎を築いてきたのです。皆さんは未
人材が求められ、読み書きそろばんは数学・データサイエンス・AIとなりまし
皆さんの未来を照らします。知識の基礎を築いて未来をみつめ、情報科学の自分

大学生活における立志について

- 自分探し、学科選択（講義）
 - 自分には天から授かったかけがえない尊い独特の持ち味があると信じて、それを見つける
- 自分の持ち味を卓越した状態にまで高めるように努力する（卒業研究）
- 立志とは自分の持ち味を発揮することが世の中の人のために役立つという自分独特の道を見つけ、その道に志すこと(社会へ)



科学技術・イノベーション基本計画

◆「仕事に必要な能力」上位の変化予測

2015年

- ▶ 注意深さ・ミスがない
- ▶ 責任感・まじめさ
- ▶ 信頼感・誠実さ
- ▶ 読み・書き・計算力
- ▶ スピード

2050年

- ▶ 問題発見力
- ▶ 的確な予測
- ▶ 革新性
- ▶ 的確な決定
- ▶ 情報収集

※経済産業省「未来人材ビジョン」から作成

情報科学分野は安泰か？

米IT大手 A 1 進化 人員削減加速

「ニューヨーク・小林北米」米IT大手の米成 A 1（A+1）と呼ばれる人材を削減する動きが加速。A 1 の標準的な人数は 10 人程度とされているが、このうち 1 人は A+2 階級に属する。米成 A 1 の標準的な人数は 10 人程度とされているが、このうち 1 人は A+2 階級に属する。米成 A 1 の標準的な人数は 10 人程度とされているが、このうち 1 人は A+2 階級に属する。

米成 A 1 の標準的な人数は 10 人程度とされているが、このうち 1 人は A+2 階級に属する。米成 A 1 の標準的な人数は 10 人程度とされているが、このうち 1 人は A+2 階級に属する。

専門人材は需要高く

「東京・佐藤」米IT大手の米成 A 1（A+1）と呼ばれる人材を削減する動きが加速。A 1 の標準的な人数は 10 人程度とされているが、このうち 1 人は A+2 階級に属する。米成 A 1 の標準的な人数は 10 人程度とされているが、このうち 1 人は A+2 階級に属する。

米成 A 1 の標準的な人数は 10 人程度とされているが、このうち 1 人は A+2 階級に属する。米成 A 1 の標準的な人数は 10 人程度とされているが、このうち 1 人は A+2 階級に属する。

2025. 7. 7 読書新聞

米IT大手 A 1 進化 人員削減加速

「ニューヨーク・小林北米」米IT大手の米成 A 1（A+1）と呼ばれる人材を削減する動きが加速。A 1 の標準的な人数は 10 人程度とされているが、このうち 1 人は A+2 階級に属する。米成 A 1 の標準的な人数は 10 人程度とされているが、このうち 1 人は A+2 階級に属する。

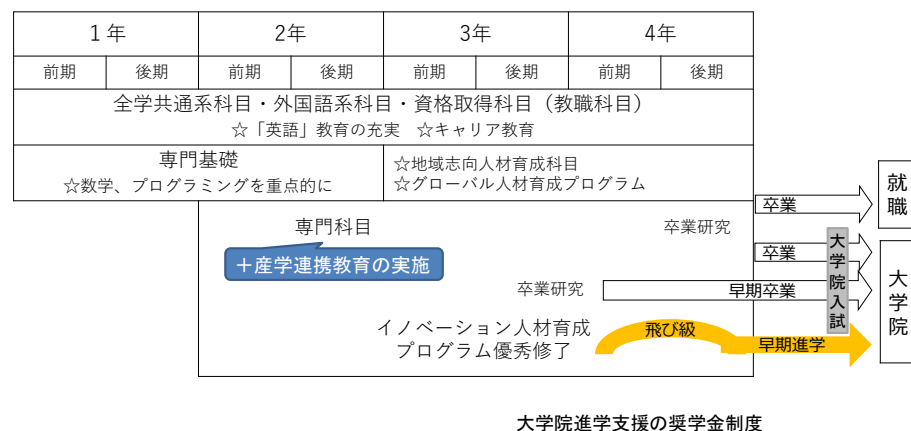
米成 A 1 の標準的な人数は 10 人程度とされているが、このうち 1 人は A+2 階級に属する。米成 A 1 の標準的な人数は 10 人程度とされているが、このうち 1 人は A+2 階級に属する。

- 実力がある学生でも履歴書がアルゴリズムによって機械的に選別(米)
- 米テック業界で働く25~29歳の若年層の失業率は昨年初頭に比べて約3%上がった。これは失業率全体の伸びの4倍以上に相当(ゴールドマン・サックス8月) → 生成AIの普及により、全米労働者の67%が最終的に職を失う可能性

<https://www.mpower-partners.com/jp/blog/kyodo-tsushin-20250829>

5/73

教育課程編成



広島『ものづくり魂』を高度知能化で継承する：次世代博士人材育成プログラム

広島市立大学のSPRING事業ビジョン、育成モデル、および社会実装エコシステム

地域密着「ものづくり」の共同研究が活発な広島市立大学の強みを活かす

戦略的ビジョンと4層の専門性

専門性を支える4つの技術レイヤー

3つの育成区分による多様な人材像

「人間中心」の 高度知能化 社会の牽引



芸術・平和・国際の知見を工学に融合し、
未来をデザインできる多角的視野を育成します

社会実装と自己ブランディングの好循環

産総研・マツダ等との
強固な連携

長期インターンシップや共同研究を通じ、
現場の課題を学術的に解決する力を磨きます

自己ブランディングによる 市場価値向上

国際学会発表を「名売り」と定義し、自律的に
キャリアを切り拓くスキルを標準化します



修了生の高度専門職就職率100%

アカデミア・産業界・公共機関のリーダーとして活躍する「知の拠点」を確立します



あらゆる分野でIT人材が求められている



- 自分には天から授かったかけがえない尊い独特の持ち味がある
 - それを見つける
- 自分の持ち味を卓越した状態にまで高めるように努力する
- 自分の持ち味を発揮することが世の中の人々のために役立つという自分独特の道を見つけ、その道に志す

